

分野:専門分野Ⅱ 科目:小児看護学方法論Ⅰ		単位 (時間)	1 (30時間)	開講 時期	2年次
講師名	外部講師	実務経験	医師として医療機関に勤務 看護師として医療機関に勤務		
授業概要	小児の特徴を理解し、成長・発達に応じた養護と、健康障害をもつ小児及びその家族に対する看護ができる能力を養う。				
到達目標	1. 小児に出現しやすい疾病、症状と治療を理解する。 2. 健康障害をもつ小児と家族に対する看護の基礎的知識と小児看護技術を理解する。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	講師	
		小児疾患【15時間】			
	1	先天異常・遺伝性疾患 新生児・未熟児の特性と疾患	講義	外部講師	
	2	代謝・内分泌疾患 免疫・アレルギー・リウマチ性疾患	講義	外部講師	
	3	感染、呼吸器疾患、循環器疾患	講義	外部講師	
	4	消化器疾患、血液・造血器疾患	講義	外部講師	
	5	悪性新生物、腎・泌尿器、生殖器疾患	講義	外部講師	
	6	神経疾患、運動器疾患、事故・外傷、子どもの虐待	講義	外部講師	
	7	皮膚疾患、眼疾患、耳鼻咽喉疾患、精神疾患	講義	外部講師	
		終了試験			
		小児臨床看護総論【15時間】			
	8	1. 疾病・障害をもつ小児と家族の看護	講義	外部講師	
	9	2. 小児の状況(環境)に特徴づけられる看護 1)プレパレーション 2)インフォームドアセント	講義	外部講師	
	10	3. 小児における疾病の経過と看護	講義	外部講師	
	11	4. 小児のアセスメント 1)コミュニケーション 2)フィジカルアセスメント	講義	外部講師	
	12	5. 症状を示す小児の看護	講義	外部講師	
	13	6. 検査・処置を受ける小児の看護	講義	外部講師	
	14	7. 障害のある小児と家族の看護	講義	外部講師	
		終了試験			
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護各論				
評価方法	学科試験、課題レポート				

分野:専門分野Ⅱ 科目:小児看護学方法論Ⅱ		単位 (時間)	1 (30時間)	開講 時期	2年次
講師名	外部講師	実務経験	看護師として医療機関に勤務		
授業概要	1. 小児の特徴を理解し、成長・発達に応じた養護と、健康障害をもつ小児及びその家族に対する看護ができる能力を養う。 2. 小児各期における特徴を理解し健康障害をもった小児に対し保育環境を整え、疾病の経過に対応した個別の看護を展開することができる。				
到達目標	1. 小児の各疾患に対する看護を理解する。 2. 小児の疾患の特性および発達段階の特徴を理解し、紙上事例を用いた看護過程の展開が理解できる。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	講師	
		小児臨床看護各論【21時間】			
	1	各疾患の看護 1) 先天異常・遺伝性疾患 2) 新生児・未熟児の特性と疾患	講義	外部講師	
	2	3) 代謝・内分泌疾患 4) 免疫・アレルギー・リウマチ性疾患	講義	外部講師	
	3	5) 感染症 6) 呼吸器疾患	講義	外部講師	
	4	7) 循環器疾患 8) 消化器疾患	講義	外部講師	
	5	9) 血液・造血器疾患 10) 悪性新生物	講義	外部講師	
	6	11) 腎・泌尿器、生殖器疾患 12) 神経疾患	講義	外部講師	
	7	13) 運動器疾患	講義	外部講師	
	8	14) 皮膚疾患 15) 眼疾患 16) 耳鼻咽喉疾患	講義	外部講師	
	9	17) 精神疾患	講義	外部講師	
	10	18) 事故・外傷 19) 子どもの虐待	講義	外部講師	
		終了試験			
		看護過程の展開(9時間)			
	1	1)小児アセスメントガイドの活用方法 2)事例に基づき看護過程の展開を行う 各カテゴリーのアセスメント	講義	専任教員	
	2	2)事例に基づき看護過程の展開を行う 各カテゴリーのアセスメント	講義	専任教員	
	3	2)事例に基づき看護過程の展開を行う 各カテゴリーのアセスメント	講義	専任教員	
4	優先順位の決定理由、看護計画立案について	講義	専任教員		
5	発達段階、健康段階を踏まえた看護技術(バイタルサイン測定等)	演習	専任教員		
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護各論				
評価方法	学科試験、課題レポート				